

# 愛媛学 第4回

※前から座ろう

(最後列座らない!)

※出席確認のため、学生証を用意しておいてください

## 配付資料 4点

1. ワークシート
2. 授業スライド
3. あぶりこっと夏キャンプ チラシ
4. (松山市青少年センターパンフレット)数量限定



# 愛媛学 第4回

松山市の中学生支援(進路や生活)の  
取り組み(青少年育成会議・土曜塾)



# 今回の内容・方法

1. 前回のふりかえり、今回の到達目標
2. 地域課題の把握と分析、解決の方向性
  - 「地域と学校の協働における 課題とその背景」  
: 講義、個人ワーク、ペアワーク、共有
  - 「青少年育成会議・土曜塾について」  
: 講義、個人ワーク、ペアワーク、共有
3. 今回のまとめ、到達目標達成の確認、ノート3記入



# 前回のふりかえり

## 内容・方法

- 地域社会のあり方及び地域づくりの担い手づくり
  - 「地域の課題把握」  
「地域の課題分析とその解決」  
:ビデオ視聴、個人ワーク、ペアワーク、共有

## 到達目標

1. 地域課題を把握するための方法について説明できる
  - 行政資料、住民アンケート調査、新聞記事やニュース、ワークショップ(話し合い、現地点検、聞き取り、専門研修)等で、潜在化している本質的原因を顕在化させて把握する
2. 地域課題を分析するための方法について説明できる
  - 体験的、記載的、分類的、論理的、理論的、実験的手法によって、「地域を科学」し分析する
3. 地域課題の解決に向けた具体的な方法について説明できる
  - メンバーの得意技を生かし、目標等を共通認識しつつ、活動しながら自分たちにあった方法をブラッシュアップ
  - 課題解決に向け、背景、主体と対象、内容、方法、時機と時期、予算を視点に入れた具体的な企画を作成し、実践していく



ワークシートの記述から ノート1:ゴミの減量のための解決策→解決策から生まれる課題

- まずは自分のゴミを減らす→意識の継続希薄化
- ゴミ袋の料金値上げ→低所得者の負担増加
- 分別を細かくする→守れない人が多くなる
- 食材などは使う分だけ買いに行く→面倒, 忙しい
- スーパーの袋料金を高くする→客が逃げる
- リサイクルポイント等でプレゼント→協賛企業広がるか？
- 容器(パッケージやペットボトル等)を全てリサイクルするものとして作る→コスト膨大
- 紙媒体をやめて全てネットに載せる→パソコンスマホを持っていない人への情報格差



## ノート2: 教室に残されているゴミの解決策

- プリントが余らないように印刷して配る
- 余ったプリントを入れる箱を設置してそれをリサイクルする
- 教室内の飲食禁止, 持ち込みも禁止
- 交代制でゴミ確認係を作り授業後に見回る
- 掃除の時間を作る
- 配布資料をやめてmoodleに掲載したものを見る(タブレットを配布する)
- ゴミ箱を設置する(せめて建物に1つは欲しい)
- ゴミを捨てるのが楽しくなるようなゴミ箱を置く。喋るペンギンとか。
- 「いつも綺麗に使ってくれてありがとう」というメッセージを各机に貼っておくと汚しにくくなる。



## ノート3:学んだこと等

- 地域を科学する方法について、体験・経験をデータ化し集約して客観的概念にすることで、より分かりやすく、本質的な原因も明らかになると思い参考になった。
- ペアワークでも見聞を広めることができると実感しているので、ワークショップに「よそ者」に加わってもらうことで客観的な意見を聞けるというのは良い考えだと思った。
- 課題解決に向けた企画に必要な項目(5W1H)は、どの企画に対しても使うことができると思う。どんな課題に対しても項目を立てて構造化して考えていくことが大切だと思った。



# 今回の到達目標

1. 地域と学校の協働における課題とその背景について説明できる
2. 青少年育成会議・土曜塾について説明できる
3. 地域と学校との効果的な連携を担う教員になるために必要な行動を検討できる





# 地域と学校の協働における課題と その背景

講師：愛媛大学教育学部 富田英司先生

- 講義
- 個人ワーク 5分
  - ノート1テーマ：地域と学校との効果的な連携を担うことのできる教員になるために、いま学生のうちから出来る準備や活動は何でしょうか
- ペアワーク 5分
  - 共通の意見は青、自分独自の意見は赤で囲む
- 共有



# 青少年育成会議・土曜塾について

講師：松山市青少年育成市民会議 西川暁先生

- 講義
- 個人ワーク 5分
  - ノート2テーマ： 学習意欲の低い生徒に対して、学習意欲を持たせるには、どのように接していくと良いと思いますか
- ペアワーク 5分
  - 共通の意見は青、自分独自の意見は赤で囲む
- 共有



# 今回のまとめ

- 地域課題の把握と分析、解決の方向性
  - － 「地域と学校の協働における 課題とその背景」  
: 講義、個人ワーク、ペアワーク、共有
  - － 「青少年育成会議・土曜塾について」  
: 講義、個人ワーク、ペアワーク、共有



# 今回の到達目標

1. 地域と学校の協働における課題とその背景について説明できる
  - 一人一人の子どもと向き合う時間の減少，地域の教育力の格差と学校への依存，「チーム学校」「地域学校協働活動」という新提案で解決を目指す課題山積
2. 青少年育成市民会議・土曜塾について説明できる
  - 「社会全体で子どもたちを守り育てる」理念，団体の概要，学校の多忙化や体験活動の減少に対する地域での教育の役割，土曜塾の概要：経済的・家庭的課題を抱える中学生対象の学習支援，貧困の連鎖を断ち切る包括的支援（福祉と教育両面），行政組織の連携課題（市民会議がハブに），恒常的な組織運営の課題，地域の中の学校を目指し，どのように地域と連携していくか学生の今から考え始めてほしい
3. 地域と学校との効果的な連携を担う教員になるために必要な行動を検討できる
  - 学校現場での体験等を重ねたり，課題や対応について考え始めよう

